

目次

2 はじめに

4 鳥獣戯画甲巻名場面

51 第二章

『大唐西域記』と

お釈迦様

15 第一章

月と鳥獣戯画

16 〔第一夜〕 新しい月

18 〔第二夜〕 京都梅尾山高山寺

23 〔第三夜〕 月世界絵巻

29 〔第四夜〕 月にウサギはなぜ居るの

39 〔第五夜〕 月のカエルの物語

46 コラム 1 月面に生える桂の木

48 コラム 2 月からカエルが消えた話

52 〔第六夜〕 『今昔物語集』に見えるウサギの物語

64 〔第七夜〕 『ジャータカ』の動物たちは生き生きと

70 〔第八夜〕 印度は月であり、月は釈迦である

77 〔第九夜〕 木に止まるフクロウは釈迦を象徴する

83 〔第十夜〕 弓矢・相撲とお釈迦様

89 〔第十一夜〕 『大唐西域記』に登場する動物たち

96 〔第十二夜〕 「絵因果経」と鳥獣戯画の関連性

104 コラム 3 月から来た「兎兎爺」の話

107 第三章

カエルとウサギは

なぜ相撲を

とっているのか？

157 第四章

鳥獣戯画と明恵上人

108 〔第十三夜〕 鹿の背に乗るウサギは

蘇跋陀羅である

117 〔第十四夜〕 明恵上人と鳥獣戯画甲巻

131 〔第十五夜〕 ストーリーを整理すると

154 コラム 4 やまとなでしこ

158 〔第十六夜〕 明恵上人のきわだつ個性

169 〔第十七夜〕 菩提心絵巻

174 〔第十八夜〕 日本の君主論

182 コラム 5 鳥獣戯画と『西遊記』

184 〔第十九夜〕 夜更けに昇る月

188 巻末資料・明恵上人年譜

190 謝辞